

高い道德観と 倫理観を持って 目的を達成する

グローバル業務行動規範





経営層からの メッセージ

パーカー社の長きにわたる成功の秘訣は高い倫理観、
道德観、そしてガバナンスを保つことによってもたら
されています。また、私たちの目的である「エンジニ
アリングの飛躍的進歩の実現がもたらすより良い明
日」を実現する上での重要なステップでもあります。

目次 ➤ 経営層からのメッセージ

パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひと
りに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと
地球環境に対する責任
主要なポリシー

1世紀以上にわたり、私たちはパーカー社の定める価値観、すなわちそれは、高い倫理観や道徳観、そして強い目的意識を持って業務を遂行すること、ならびに適用法令を遵守することです。これを一人ひとりの社員がその責任を負うことによってパーカー社としてなりえてきました。

私たちの文化と価値観は成功の礎であり、事業戦略のThe Win Strategy™に組み込まれています。私たちの優位性は、パーカーで働く社員の優秀さはもとより、お客様やサプライヤ、ディストリビュータ、そして私たちが製品をお届けする世界との間に築き上げた信頼関係によってもたらされていると信じています。

パーカーの礎である公正さと誠実さを遵守することは、私たちの企業としての姿勢を明らかにするものであり、信頼を築く重要なことです。今、私たちが得ている信用は1世紀以上をかけて築き上げたものですが、その信用はたった一度の判断ミスで崩れます。パーカーを信頼できるビジネスパートナーそして素晴らしい会社であるという評判を今後も堅持する責任は、我々社員全員が共有すべきものです。倫理観、道徳観、誠実性はいかなる理由があっても、損なわれることは許されません。

パーカー社が定める行動規範はいかなる理由があっても損なわれることは許されません。パーカー社の従業員一人一人が定められた行動規範、ポリシー、さらには適用法令に、例外なく、従わなければなりません。

パーカーの価値観、方針、あるいは適用法令に沿わない行動を目にした場合は、自分の懸念を各地域のリーダー、米国本社の法令遵守室に適時に又正直に報告および提起するか、パーカーのインテグリティラインを通じてご連絡ください。パーカーでは問題や懸念を適時に又正直に報告した社員を保護するため、報復禁止という方針を設けています。

私たちが行うすべてのことにおいてパーカーの価値観と目的を体現する社員の皆さんにお礼を申し上げます。同僚、お客様、そして私たちのコミュニティにとって良い手本であり続けましょう。



Thomas L. Williams *Lee C. Banks*

Thomas L. Williams
Chairman and Chief Executive Officer

Lee C. Banks
President and Chief Operating Officer

パーカーの 価値観。

成功につながる文化

私たちは、誠実性、倫理的行動、思いやり、尊敬の念を尊重し、グローバルビジネスのあらゆる側面において一貫性を促進します。そして、信頼できる世界的な管理体制を通じて生活の質の向上に努めます。

熱意に満ちた人材

私たち一人ひとりにチャンスが与えられています。どんなアイデアにも価値があり、全ての意見が尊重されます。私たちは、安全を確保しながら、力を結集して目標を達成します。当社の優位性は、従業員同士はもとより、お客様やサプライヤ、ディストリビュータとの信頼および世界的ネットワークによってもたらされると考えています。

大切なお客様

私たちは、お客様の生産性と収益性の向上に協力し、お客様と当社の双方の成功を実現します。私たちは革新的技術、価値の創造、および最高品質のシステムソリューションを通じてお客様にお応えするよう努力しています。

主体的なリーダーシップ

私たちはあらゆる状況下において私たちの価値を理解していただこうと努力しています。私たちの特性や経験、能力は、優れた業務運営の礎となっています。私たちは、利害関係者の方々が期待する結果を実現する責任を担っています。私たちは互いに意見を交換し励ましあいながら成長と業績に誇りを持って行動します。

目次
経営層からのメッセージ


＞ パーカーの価値観

行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと
地球環境に対する責任
主要なポリシー



パーカーは社員に対して、社員一人一人の成長と結果が重視される職場環境が与えられることを推奨します。パーカーの有効性を高める上で不可欠な要素は、創造性、革新、説明責任です。

パーカーで働くすべての社員は、パーカーに関連する全ての利害関係者と同様の敬意が払われます。パーカーという結果を重視する組織は経歴や考え方が異なる従業員であっても才能のある人は実績に基づき評価します。

パーカーは異なる経歴や考え方をもっている従業員を尊重し受け入れる事によってモーションコントロール業界にて確固たる地位を築いてきました。

目次



経営層からのメッセージ	2	パーカーに対する責任	24
		業務上の費用	25
パーカーの価値観	4	会社の資産	26
		機密情報	26
行動規範	8	利害の対立	26
		データの正確性と内部会計統制	29
パーカーの社員一人ひとりに 求められていること	10	外部とのコミュニケーション	30
個人の責任	11	情報技術と電子通信	30
リーダーとしての付加的な責任	11	インサイダー取引	32
		製品の品質	33
		安全	35
スマートな意思決定	12	第三者との関わり方	36
決定木	13	贈収賄と汚職	38
声を上げる	14	公正な競争	39
リソース	17	贈り物の授受	40
報復行為は許されません	17	私たちに委ねられた情報	41
調査	17	資金洗浄（マネーロンダリング）	42
職場における配慮	18	公務員との実質的な関わり方	42
差別	19	通商法	43
薬物禁止、職場への酒類持ち込み禁止、 職場での喫煙禁止	20	コミュニティと地球環境に対する 責任	44
嫌がらせ	20	企業の社会的責任	45
ソーシャルメディア	21	環境管理	45
暴力の防止	23	政府に対するロビー活動と政治活動	46
従業員のデータプライバシーの保持	23	人権	47
		主要なポリシー	49

行動規範

パーカーのグローバル業務行動規範は、私たちの行動、決定、および活動に対して交渉の余地のない全世界共通の基準・期待を定めています。行動規範は、私たちのビジネス活動における誠実さ、倫理観、道德観、そして公平さを規定・網羅しています。

このグローバル業務行動規範は情報源や参考ガイドとなるよう設計されており、法律、規則、パーカーポリシー、または業務行動規範上のすべての問題に対処するものではありません。同規範は、法律、規則、または方針の遵守を求めるだけではありません。パーカーでは、法律、規則、またはパーカーの方針の遵守は最低限の要件にすぎません。正しく行動しようとすれば、これだけで十分とは言えないのです。

原則的に、パーカーの定める行動規範から逸脱することは認められません。やむを得ない特定の状況下においては（利害の対立、贈答品、接待、等）別途規定が定められており、これを遵守することが求められます。上記で述べた状況を除き、逸脱が妥当であるとみなされる非常に稀な状況においては、最高経営責任者と法務部門責任者両方の書面による承認を必要とします。逸脱を求める人物がパーカーの重役または役員の場合、パーカーの取締役会のみが当該行為を承認でき、その場合は適用される法律と証券取引上場規則で定めるところにより、株主に速やかに開示されます。



目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観


パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



→ この規範はパーカーの社員だけでなく、コンサルタント、独立した受託業者やサプライヤ、代理店、販売員、そして取締役会にも例外なく適用されます。



パーカーの社員一人ひとりに求められていること

パーカーが築き上げてきた名声は高い倫理観、道徳性、誠実さによります。これは社員一人一人の意識の高さによって築き上げられてきました。そしてこれを堅持するには、今後も社員一人一人の行動責任が大切です。私たち従業員一人一人は信頼を築き、維持し、そして従業員の実直性や熱心さにつながる環境作りに真摯に取り組まなければいけません。一方で、我々一人一人が、誠実に行動し、懸念や問題を感じた時には適切にそれらを上申する責任も担っています。



目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

➤ **パーカーの社員に
求められていること**
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと
地球環境に対する責任
主要なポリシー



個人の責任

パーカーで働くすべての社員、コンサルタント、独立した受託業者やサプライヤ、代理店、販売員、そして取締役会の誰もが、次のことを求められています。

- 合法的かつ倫理的に業務を遂行する。
- この規範に概説されている原則とパーカーのすべての方針に従う。
- 適切に判断し、常に正しく行動しようと努める。
- 発言することの重要性何か懸念があれば、適切なルートを通じて適時間い合わせし、報告する。

私たちは、行動規範に則りあらゆる関係性においてこの規範を遵守する必要があります。又、倫理的および法律的に、この規範の原則に反する活動を禁じます。

自分の責任や取るべき適切な行動が分からない場合は、マネージャーもしくは規範に則りそれに準ずる方へ相談下さい。この規範、パーカーの方針、あるいは法律または規則に違反した疑いがある場合は、その問題を経営陣に申告して注意を促します。問題や懸念を適切に報告しなければ、状況は悪化するだけです。

リーダーとしての付加的な責任

パーカーのリーダー、管理職、上司は、誠実で倫理的な行動と法令遵守を高い水準に保てるよう支援する義務もあります。

パーカーのリーダーは以下を実行しなければなりません。

- チーム内の雰囲気と仕事環境を適切に整える。
- パーカーの価値観を重視する文化に則った方法で業務を遂行し、行動する。
- 模範を示して指導し、誠実性と法令遵守、尊重、多様性と一体性のロールモデルとなる。
- この規範に従うこと、パーカーの方針と適用法令を遵守すること、ならびに目的と価値観を体現することの重要性について社員に再認識させる。
- 社員が気軽に質問したり、報復を恐れることなく問題や懸念を報告できる文化を構築する。
- 行動規範やパーカーの定める指針やポリシーへの違反や逸脱した行為を適切に報告又管理する。
- パーカーは事業目標を達成するため、あるいはいかなる理由であっても、倫理的かつ誠実であることを犠牲にすることは決してないことを社員に必ず理解させる。
- 社員の雇用、評価、昇進、報奨については、倫理と法令遵守を配慮する。

スマートな 意思決定

パーカーが築き上げ、100年以上にわたって享受している倫理的な法令遵守の文化を堅持する上で鍵となるのはスマートな意思決定です。

パーカーの企業としての目標を達成する際に、社員が倫理的な意思決定を行う上で大きな役割を果たすのが、パーカーの価値観を体現すること、このグローバル業務行動規範、パーカーポリシー、適用法令を遵守することです。私たちが毎日行う意思決定は、個人としてだけでなく、組織としての私たちの在り方をつぶさに語っています。正しい意思決定を行うことが重要です。なぜなら、評判はその意思決定にかかっているからです。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
➤ **スマートな意思決定**
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと
地球環境に対する責任
主要なポリシー

→ 決定木

難しい決断を下さなければならない場合、以下に示す図を利用して正しい方向に到達できるようにします。





声を上げる

パーカーは、最大限の誠実さをもって業務を遂行するよう努力し、その目標を保ち続ける上で果たすべき重要な役割を私たち一人ひとりが担っていることを認識しています。

この規範、パーカーの方針、あるいは適用法令に違反している、または違反する可能性があることに気づいた場合は、声を上げる責任があります。パーカーを保護し、その盤石な文化や評判を保ち、高める共有責任が私たち全員にあります。したがって、この規範、方針、または法令に準拠していない活動や行為を知った場合は沈黙することはできません。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
➤ 声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー





声を上げる

リソース

通常、倫理または法令遵守に関する懸念を解決するのに最も適したポジションにいるのは、あなたの上司またはマネージャーです。ただし、それだけが選択肢ではありません。次のことができます。

- その問題について管理チームの他の社員と話し合う。
- その問題についてその地域のコンプライアンスオフィサーと話し合う。
- 人事部、米国本社のコンプライアンス部、または法務部に連絡する。
- パーカーの24時間対応のインテグリティライン (<http://parkerintegrityline.com>) に連絡する。

パーカーのインテグリティラインは独立した企業が運営しています。このラインは多言語で1日24時間、年中無休でご利用いただけます。法律で許可されている場合は匿名性を維持しながら、Webからまたは電話で報告することもできます。国別のダイヤルイン番号のリストは、パーカーのインテグリティラインのWebサイトに掲載されています。

報復行為は許されません

パーカーポリシーにより、善意を持って報告すること、または調査に協力することに対して、脅迫、嫌がらせ、就業時間の削減、失業、またはその他の悪影響は禁止されており、それらからパーカーで働く社員を保護します。「善意」とは、個人が正しくなければならないという意味ではなく、当該個人が提供した情報が真実であると合理的に判断していなければならないことを意味します。

いかなる報復行為も懲戒の検討対象となります。パーカーの社員が、善意により違反の疑いを報告した人物に対して報復を行ったと判断された場合、訓練を受けるか、または雇用終了を含むその他の懲戒処分の対象となる場合があります。詳細については、パーカーポリシー3.32 (報復禁止) を参照してください。

調査

調査はすべて、専門的なやり方で実施されます。可能な限り秘密を守り、あらゆる関係者の重要なプライバシーを慎重かつ適切に扱います。

調査が適切に行われていないと考えられる場合は直ちに報告してください。

パーカーの社員は調査に干渉したり、自ら情報収集に取り組んではなりません。すべての社員は、訴訟または政府の調査手続きに関連して実施されるものを含め、すべての調査、監査、およびその他の審査に協力することが求められます。

行動上の誠実さ ←

Q. 自分のマネージャーに関する問題を善意でインテグリティラインを通じて報告した場合、自分は失職するでしょうか。

A. いいえ。パーカーの社員として、あなたが正しくない、または正しいことに見えないと考えた場合、あなたには声を上げる責任があります。善意により報告した懸念に対する報復は、いかなる形であっても私たちは許しません。自分が報復されている、または報復されていたと思う場合は、マネージャー、人事部、地域のコンプライアンスオフィサー、または米国本社の企業法令遵守部にご連絡ください。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
➤ 声を上げる


職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



職場における配慮

雇用されている従業員はWin Strategy™を担う重要な人材であり、パーカーに成功をもたらす牽引役です。私たちは、多様性を促進し歓迎すること、相互関係においてオープンで正直であり、互いを尊重すること、さらに協力的で一体性の高い環境を作ることで、お互いを尊重します。さらに、名声を傷つけるような行動に関与しないという点でも、私たちはパーカーとお互いに敬意を払います。



目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

➤ 職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと
地球環境に対する責任
主要なポリシー

差別

パーカーでは、互いに、お客様、サプライヤ、およびその他のビジネスパートナーに尊厳と敬意をもって接しており、その目標が誰かによって損なわれた場合は、正々堂々と意見します。

私たちは、職場ならびに共に仕事をする人々の多様性を積極的に促進することを誇りに思っています。私たちは世界中のパーカー全社員を一体として扱い、年齢、人種、皮膚の色、祖先、宗教、性別、障害、国籍、民族、性的指向、遺伝情報、家族状況、退役軍人、妊娠しているかどうか、またはその他の法的に保護された分類とは関係なく、適任である個人に公平な対応が行われるように取り組んでいます。

私たちは、すべての人々に価値があり、それぞれの個人の能力や貢献に敬意を払うべきであると考えています。私たちは多様性により、革新を促して事業を推進し、競争力を高めます。

私たちが働く世界にはさまざまな社会的習慣や文化的伝統があることを理解し、このような違いを配慮して受け入れます。私たちは、ビジネスの場での差別を禁止する法律を支持し、このような法

律に従います。関連する法令またはパーカーの方針に反する行為があれば、解雇を含めた懲戒の対象になります。

行動上の誠実さ ←

Q. 所属部門でマネージャーレベルのポジションについてのインタビューがありました。私は自分の資格、経験、業績から、この役割に十分な資格を持つ候補者であり、実際に就けてたのではないかと考えています。正直なところ、私の肌の色や性別が理由で昇進できなかったと思っています。私は何をすべきでしょうか。

A. パーカーポリシー3.21（嫌がらせ禁止および差別禁止）では、パーカーではいかなる形の嫌がらせも差別も許容しないと明言しています。不当に扱われたと思う場合は、人事部に連絡するか、パーカーのインテグリティラインを通じて懸念を提出してください。



職場における配慮

薬物禁止、職場への酒類持ち込み禁止、職場での喫煙禁止

パーカーの職場では薬物禁止、酒類禁止、煙草禁止です。したがって、職場の安全性を損う有害物質とは無縁と言えます。

- 酒類、合法または違法な薬物や規制薬物を摂取した状態で出勤したり、社用車やその他の車を運転しないこと。
- 会社が認めた特定のイベントを除き、会社の敷地内、または業務関連の活動に従事している間の飲酒を禁止する。会社が認めたイベントに参加している間は、正しい判断を下すことが求められ、泥酔状態に陥ったり、アルコールの影響下にある間は、車を運転したりその他の危険を伴う活動に従事したりしないこと。

さらに、合法または違法の薬物はもちろん、判断力を低下させる可能性があるその他の規制薬物も、会社の敷地内または業務中における携帯、使用、売買、提供を禁止します。違反が見つかった場合、法律では許容されている場合でも地元当局に通報することがあります。

行動上の誠実さ ←

Q. 同僚が何らかの薬物またはアルコールの影響下にあると確信しています。私は何をすべきでしょうか。

A. 率直に話してください。この状況は安全に関わる問題となるかもしれません。そのため、直ちにマネージャーに報告してください。マネージャーが必要な手続きでこの状況に対処します。

嫌がらせ

性別、人種、民族、障害の状態、およびその他の保護されている特性/保護分類に基づく労働環境での不適切であるだけでなく、違法であり、許容されません。次に、そのような行為の例をいくつか示します。このような行為は懲戒の対象であり、解雇に到ることもありえます。

- 望ましくない発言、ジェスチャー、性的な意味での身体的接触。
- 民族性により他人を馬鹿にしたり、傷つけたりする冗談を言うこと。
- 猥褻物の掲示や配布。このような事物を目にした者が不快、不適切と感じる可能性がある絵や画像などを含みます。
- 疾患や障害に基づいた他者への暴言。
- 人種的中傷または否定的なステレオタイプ化。
- 人種または性別によるいじめ、嘲笑、脅迫
- 宗教を理由とした個人の業務の拒否や協力の拒否。
- この規範、パーカーポリシー、または法律に反することについての懸念をパーカーの社員が提起したことによる当該社員への敵対的な行動。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

➤ 職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



我々一人一人の社員はパーカーの文化を外部に伝える「大使」です。お互いを尊重し合う職場環境を構築しこれを保持する責務があります。こういった職場環境を貶める行動は受け入れられません。自分が嫌がらせに遭っていると思う場合や、同僚の嫌がらせを目撃した場合は、そのことを自分のマネージャー、別のマネージャー、人事部に報告するか、またはパーカーのインテグリティラインを通じて報告する必要があります。

行動上の誠実さ ←

Q. 彼は他の同僚が彼を守らないと知っているため、繰り返し嘲笑し続けています。彼は他の同僚が彼を守らないと知っているため、繰り返し嘲笑し続けています。私はこの件を誰かに伝える義務があるのでしょうか？

A. はい。パーカーは、いかなる嫌がらせも厳しく禁止しています。このようなインシデントに上司、マネージャー、人事部の目を向けさせるか、パーカーのインテグリティラインを通じて報告する必要があります。

ソーシャルメディア

市場において、ソーシャルメディアを使用する重要性は高まっています。このため、パーカーの社員はそのような公共の場を適切かつ責任を持って使用することが重要です。ソーシャルメディアは、ブランドの評価と事業の成長に良い影響を与えるための新しい機会を提供するものである反面、使い方を間違えば重大なビジネスリスクをもたらします。

ソーシャルメディアを使用するときは、すべての現行ポリシーが適用されることを忘れてはなりません。具体的には、パーカーの事業、技術、および財務に関する情報の機密保持が含まれます。オンライン中はすべての該当するパーカーの方針ならびに法令に常に従って、それらを遵守し、ソーシャルメディアサイトで定められた利用規約に従わなければなりません。

ソーシャルメディアサイトを開設しようとしているパーカーのビジネスユニット、または同サイトを代表するパーカーのビジネスユニットは、YouTube、Youku など、ソーシャルメディアサイトにパーカーに関連する何らかの動画を投稿する場合は、まず国際人事・渉外部のバイスプレジデント、または当該バイスプレジデントが指名した者から承認を得なければなりません。



目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

＞ 職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと
地球環境に対する責任
主要なポリシー

職場における配慮

行動上の誠実さ ←

Q. マーケティングチームが数か月以内にマーケティングキャンペーンを開始しようと計画しています。そのキャンペーンの詳細を同僚が個人のソーシャルメディアサイトで共有していることを知りました。私は何をすべきでしょうか。

A. マネージャーに報告する必要があります。いかなる状況にあっても、マーケティング戦略や機密情報はソーシャルメディアで共有してはなりません。パーカーの全社員が、企業情報のプライバシーとセキュリティを保護する義務を負っています。常に「投稿する前に考えること」が必要です。

暴力の防止

パーカーは、脅迫、脅し、および身体的危害のない安全な職場環境作りに取り組んでいます。すべての人が安全な環境で働く権利を持ち、すべての人が他の人の安全を確保する責任を共有します。

パーカーは、以下のような職場での暴力行為を許容しません。

- 身体的危害を加えること、またはそのような脅迫をすること。
- 他者に対する攻撃的な態度。
- 他者の身体的安全または健康を 意図的に軽視すること。
- 合理的に脅威と解釈できる可能性のある意見または行動。

この規範に違反した場合と同様に、パーカーの社員は、直接関与しているか目撃したかに関わらず、危険な行為はすべて報告する義務を負っ

ています。人または資産の安全を脅かす、または暴力につながる可能性がある行為は、上司、セキュリティ、またはHRに、あるいはパーカーのインテグリティラインを通じて、直ちに報告する必要があります。

従業員のデータプライバシーの保持

パーカーは、パーカーの社員またはその他の利害関係者から提供される個人情報の収集、使用、転送、および保持に関して、すべての適用法令の遵守に努めています。パーカーが事業を運営し、利益を管理し、法的要件を満たすために個人情報を収集する必要があります。ただし、私たちはパーカーの社員それぞれの個人情報、家族情報、医療情報、および財務情報のプライバシーと機密の保護に尽力しています。私たちは皆さんのプライバシーの権利を尊重しており、私たちに委ねられた個人情報を保護します。

望ましい行動とは

- 合法的な事業目的でのみ、個人情報を収集、処理、使用する。
- 個人データを紛失、誤使用、不正アクセス、開示、改変、破壊から保護する。
- セキュリティで保護されたツールを使用してパーカー社内外の担当者と個人データを共有し、当該情報を把握する必要があるとして認められた担当者にアクセスを制限する。
- 個人データを取り扱う際は、該当するデータプライバシー法、パーカーのデータプライバシーの方針、およびプライバシーの通知を忠実に守る。
- 個人データの取り扱いが誤っていること、または個人データのセキュリティに関する懸念について気づいた場合、または疑いがある場合は、米国本社の法令遵守室または法務部に直ちにご連絡ください。

パーカーに 対する責任

パーカーが目標を達成するためには、誠実かつ正直で、配慮を欠かさないこと、法律に従い、倫理的に行動することが大切です。私たちがパーカーとその利害関係者を誇りに思うのは、名声に傷をつけるような行為をしないだけでなく、事業を展開するすべての国で法令を遵守しているからです。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
➤ **パーカーに対する責任**
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



業務上の費用

私たちは、ビジネスで発生する移動に関わる費用および事業に関連する費用を、誠実かつ正確に、また完全に記録するよう求められています。パーカーの資金は、儉約を旨とし、正当な事業目的にのみ使わなければなりません。法人クレジットカードの使用、推奨される旅行業者、必要な管理者の承認、領収書、経費報告書およびその他の移動および接待に関連する事項については、パーカーの方針に従ってください。

経費の精算を提出する際は、常に正直かつ正確であることが求められます。個人的な旅行や娯楽にパーカーの資金を使用した、または自分の収入の補填にパーカーの資金を使用した場合、解雇を含めて懲戒の対象になります。

行動上の誠実さ ←

Q. 同僚が出張に行き、個人的な旅行として週末まで滞在を延長しました。その同僚は個人的な旅行である週末も含めたこの旅行全体を経費とする計画を私に話しました。これは適切でしょうか。

A. 個人的な旅行と出張を組み合わせる場合は、パーカーの社員のマネージャーによる事前の承認が必要です。経費の支払いは業務上発生した費用に対してのみです。個人的な理由で出張期間を延長したことによって発生したすべての追加料金（食事、宿泊、娯楽、駐車など）は払い戻されません。また、そのような経費精算を会社に提出してはなりません。

パーカーに対する責任

会社の資産

私たち一人ひとりが多くの会社資産を任されており、それらを保護する責任を負っています。このような資産は、現金およびその他の金融資産だけでなく、設備、在庫、供給品、知的財産、電子メール、電話、コンピュータ、およびインターネットシステムなどが含まれます。私たちは、資産を保護するためのセキュリティ手続きに従い、また、資産の損失または乱用につながる恐れのある状況に警戒しています。

会社資産の窃盗、詐欺、不正公開、横領または着服に関わる行為は一切認めません。さらに、当該行為に他者が関与することも容認しません。

機密情報

私たちの発想および発明、革新的なカスタマーソリューション、およびその他の技術的および業務上の専有情報は、私たちと競合他社を差別化する貴重な資産であり、保護する必要があります。妥当と判断した場合は、知的財産権を行使いたします。

私たちは、パーカーの知的財産およびその他の機密情報を細心の注意を払って取り扱います。この中には、商標、特許、著作権、企業秘密およびその他の専有情報が含まれます。

次のようにして機密情報を保護します。

- 機密情報を一覧にして管理する。また、物理的、電子的に安全な場所に保管し、知る必要がある者にのみ開示する。
- 情報を保管するのは、記録保持・保護のガイドライン（1.04）に定めた期間中に限る。必要に応じ、定められた方法で、不要となった文書をシュレッダーにかけて破棄する。

行動上の誠実さ ←

Q. 第三者の知的財産権を保護する責任が私たちにあるのですか。

A. はい、あります。私たちは、第三者の知的財産権を尊重しています。他者の知的財産権を故意に侵害しないというのが私たちの方針です。

利害の対立

私たちは常にパーカーにとって最大の利益になるよう行動することが期待されています。そのため、利害の対立の可能性を注意深く監視し、回避しなければなりません。利害の対立はビジネス上、個人的、社会的、財務的または政治的な利害、職務、義務、活動、または関係性、あるいは家族との関係性が仕事、責務、目標、およびパーカーへの忠誠心を阻害する場合に発生します。利害の対立は、私たちの個人的判断とパーカーの企業としての判断を監視や批判の高まりにさらし、私たちの信頼性や他者が私たちに置く信用を傷つけることがあります。実際の対立、および対立の出現を回避する必要があります。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
➤ パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



以下の状況は利害の対立が発生する可能性がある例を示しており、これらは禁止されています。

- 自分や自分の家族が、パーカーと競合または取引する会社を所有し、または経営に携わっている。
- パーカーの利益よりも個人的な利益を優先し購買に関する決定を行う。
- 自分や自分の家族が、社内での立場を利用することにより、個人的な不当な利益を受け取る。
- 自分や自分の家族が、上場企業への一般通常投資以外に、競合他社、サプライヤまたはお客様に対する金融投資を行っている。

以下に、利害の対立が発生する可能性のある状況の例を挙げます。

- 自分もしくは自分の家族のいずれかが、競合他社、お客様またはサプライヤに勤めている。
- 自分や自分の家族が、自分の独立性または判断力を損なう恐れのある関係（ビジネスまたは個人の関係のいずれの場合でも）に関わっている。
- 自分や自分の家族が、パーカーの意思決定と競合するか、あるいは影響を与える外部の企業、非営利組織、事業団体、またはその他の組織の取締役の地位に就いている。

行動上の誠実さ ←

Q. 同僚の娘が同じ部署に採用されました。これは「利害の対立」に当たりますか。

A. 親族が同じ部署で働いている事例はままあることです。その場合、昇給や業務実績の査定を確実に親族以外の者が行うようにし、客観性や公正性を担保するため、継続的に状況を監視します。

Q. 夫が取引先であるサプライヤの重要な地位に就きました。これは「利害の対立」に当たりますか。

A. 自分自身あるいは自分の部下が、そのサプライヤとの取引に携わったり、サプライヤの選定に当たって重要な役割を担ったりする場合、問題になるかもしれません。この関係を上司に話し、パーカーポリシー1.32（利害の対立）に示されているリンクを使用して電子開示用のフォームに記入してください。また、サプライヤとの意思決定や交渉には関与しないでください。



パーカーに対する責任

データの正確性と内部会計統制

私たち一人ひとりが、パーカーが米国証券取引委員会や世界中の関係当局に提出または提供する報告書や書類だけでなく、財務記録、会計記録およびその他の業務記録の完全性、公正性、適時性、および分かりやすさを維持する責任があります。これらの記録には、財務および会計データ、旅費および経費の報告書、給与支払いのタイムシート、在庫データ、雇用関係書類、エンジニアリング/品質/生産報告書、電子メールまたはその他の通信文書、ならびに通常業務において維持されるその他の記録が、紙か電子形式かを問わず含まれます。

私たちは、財務、会計、およびその他の業務記録を、外部に報告されるものか、社内で使用されるものかに関わらず誠実さと公正性をもって作成しており、財務記録を作成および維持する際には、一般に認められた会計原則に準拠しています。

次に、私たちが従うべきガイドラインを示します。

- 私たちは、財務実績または経営実績を不正確に伝えたり、または会社の財務諸表の誠実さを意図的に損なったりしてはならない。
- 私たちは、金融または非金融の取引、結果または差引残高の本質を意図的に隠したり、誤解を招くようにとりつくろったり、偽装したりする情報を、帳簿または記録に決して記入しない。
- 私たちは、パーカーの決算報告書の正確性を保証することを目的としたすべてのプロセスおよび統制に従う。

- すべての取引を適時報告する。
- 強固な内部統制システムを維持する。
- パーカーの内部統制に関連する情報の調査または認証を求められた者は、全面的かつ正確に、また時宜に即してそれを実行する必要があります。
- 記録の保管および保護のガイドライン (1.04) に従って記録を保存し、保護する。
- パーカーの会計実務、財務諸表、またはビジネスおよび品質の記録について、パーカーの独立監査役および政府調査官または監督機関だけでなく、パーカーの内部監査、法令遵守、会計および法務チームと、常にオープンに協力し、コミュニケーションをとる。それらのいずれについても、影響を与えること、強制すること、改ざんすること、欺いて導くことは決してしない。

行動上の誠実さ

Q. 実績を水増しした報告書を作成するよう圧力をかけられています。どうすればよいでしょうか。

A. 決して虚偽記載をしてはなりません。直ちに米国本社の法令遵守室に懸念を伝えてください。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
➤ パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー

パーカーに対する責任

外部とのコミュニケーション

パーカーは、時宜を得た正確な情報を一般に提供するように尽力しています。これにより、私たちの株主、潜在的投資家、および政府機関の信頼を維持するだけでなく、法令上の要件を満たすことができます。そのため、経営陣のみがパーカーを代表して話することが重要です。

- メディアから問い合わせを受けた場合、パーカーが広報イベントへ参加するよう要請を受けた場合、または企業調査に参加するよう依頼された場合、あるいはパーカーを代表して公的に話すよう依頼された場合は、国際HRおよび対外広報担当バイスプレジデントに連絡してください。
- 財政または業界アナリストまたは投資家からの問い合わせは、すべてIR部門が対応する。
- 広報担当として指名されていない社員は、パーカーポリシー1.21（投資家、メディア、および政府とのコミュニケーション）に掲載されている指定広報担当者のいずれかによって特に権限を与えられている場合を除き、投資コミュニティやメディアからの依頼に応えないように指示されている。

権限を与えられていない限り、公になる可能性のあるいかなるコミュニケーションにおいても、自分がパーカーを代表して話すような印象を与えないこと。これには、オンラインフォーラム、ソーシャルメディアサイト、ブログ、チャットルーム、および掲示板への投稿が含まれる。このポリシーは、投書欄や製品やサービスの説明だけでなく、当社の事業に関連する特定の事項に関するジャーナリストへのコメントにも適用されます。

行動上の誠実さ

Q. 私は、自分が所属するディビジョンでは業界を変革するだろうと確信している革新的な製品の主任技術者です。パーカーコミュニケーションズでは、当該製品に関する公式なプレスリリースを行っていますが、現在私はメディアからインタビューと製品の見通しについて話すよう誘いを受けています。自分ではこのようなインタビューを受けても構わないだろうと思っています。なぜなら、自分は主任技術者であり、そのテクノロジーやその製品の機能については最も分かっているからです。

A. いいえ。パーカーの方針1.21の投資家、メディア、および政府とのコミュニケーションに掲載されている指定広報担当者のいずれかによって特に権限を与えられていない限り、メディアのインタビューを受けてはなりません。

情報技術と電子通信

パーカーの情報技術資産および電子通信リソースは、パーカーの事業目的のために社員に提供されます。パーカーの情報技術資産および電子通信リソースで保存、送信、または処理される、すべてのファイル、情報、通信およびその他のデータはパーカーの財産であり、法律で認められているように、パーカーおよび第三者の範囲で、パーカーは当該ファイル、情報、通信およびその他のデータにいつでもアクセスし、それらを監視し、開示する権利を有しています。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
➤ パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



パーカーの社員は、認められた方法かつセキュリティの脅威を回避する方法で、パーカーの情報技術資産および電子通信リソースを使用しなければなりません。

会社の電子メール、電話、コンピュータ、およびインターネットシステムを適切に使用することは社員一人ひとりの責任です。パーカーの社員は、正当かつ偶発的な使用が適用される場合を除き、会社資産（情報技術資産を含む）の使用は業務目的に限るものとします。

行動上の誠実さ ←

Q. 昼食の時、私はたまにパーカーのコンピュータを使用してスポーツのスコア、天気、株取引をチェックしています。これはパーカーのグローバル業務行動規範に反しているでしょうか。

A. いいえ。ただし使用が限定されていること、さらに 1) 業務に支障をきたしておらず、2) パーカーの情報技術資産の機能に悪影響を与えておらず、3) 外部の民間事業に関係がなく、4) 法律、この規範、またはパーカーのその他の方針、慣行、または手続きに反していない場合に限りです。

パーカーに対する責任

インサイダー取引

パーカーまたは他の会社に関する重要な非公開情報を知っている場合に、パーカーまたは他の会社（パーカーのお客様およびサプライヤを含む）の株式を手放すこと、またはそのような株式を売買する可能性のある他者（友人、家族、取引先を含む）に重要な非公開情報を開示することは、パーカーの方針に反するものであり、米国の証券取引法によって禁止されています。

重要な非公開情報としては、たとえば、合併、買収、子会社の売却、訴訟、新製品の発表、契約締結、決算報告、収益またはその他の予測情報、株式分割、またはパーカーおよび/またはその他の会社の株価に影響を与える可能性のある機密情報があります。

その他の重要事項の詳細については、パーカーの方針1.18（インサイダー取引）を参照してください。インサイダー取引に関する規制は複雑なことが多く、直感的に分かりやすいとは限りません。違反すれば、パーカーで働くメンバーにとってもパーカーにとっても、重大な結果を招く可能性があります。個別の問題については法務部にお問い合わせください。

行動上の誠実さ ←

Q. マネージャーがパーカーが検討している買収に関する財務資料を作成するよう、私に頼んできました。これは機密情報であり、まだ公開されていません。自分が確認した情報によると、ニュースが公開されればすぐに買収先の株価は上昇すると思います。買収を計画している会社の株は買えないことは分かっていますが、義理の妹は「インサイダー」ではないので、その妹にニュースを伝えることはできますか。

A. いいえ。このニュースは機密であるため、他者と共有することはできません。また、この情報は重要な非公開情報である可能性もあり、他者との共有は「チッピング」と見なされる場合があるため、法律およびパーカーの方針に反しています。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
➤ パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



製品の品質

製品はすべて、安全で安心できるものでなければなりません。さらに、適用される法令や規制の要件をすべて満たすとともに、お客様が定める品質要件や仕様を満たし、パーカーの方針および手続きに従う必要があります。

私たちは、ただ1つの理由から、厳しい製品品質に取り組んでいます。それが、正しいことだからです。

パーカーの社員は、欠陥のある業務内容や材料を故意に隠したり、意図的に記録を偽造したり、パーカー製品の安全性や品質に関する虚偽の証明や申し立てを作成してはなりません。

行動上の誠実さ ←

Q. 私はパーカーのエアロスペースの一部門でジュニアインスペクターを務めています。最近、マイクロメーターの校正記録とマーキングの両方の定期的な校正作業の期日が過ぎていることに気づきました。これを上司に報告したのですが、上司は「大丈夫だ」と言い、それらの計器を使用して製品を承認し続けています。マイクロメータが今でも仕様内であることが分かっているからです。さらに、この上司は、翌週には校正を行う会社が来て計器を再認定すると言っています。私はこの状況を不安に思っています。いつもと同じようにテストを続けるべきでしょうか。

A. いいえ。このような状況は製品の品質、安全性、性能の期待値を損なわせる可能性があります。直属の上司があなたの懸念を否定するのであれば、その上のマネージャー、人事部に上申するか、パーカーのインテグリティラインを通じてこの状況を報告してください。



パーカーに対する責任

安全

パーカーは、社員とその作業環境の安全に全力で取り組んでいます。パーカーは優れた運用上の安全性の期待値を定め、作業環境における危険を特定し、削減するためのツールとトレーニングをパーカーの社員に提供しています。すべての社員にパーカーの安全文化に関する発言権があります。安全性を重視してパフォーマンスの高いチームを確立することによって、パーカーは社員が安全実績を牽引し、改善し続け、危険を伴う行動を避けるよう努めています。パーカーは引き続き、安全に関する取り組み、責任感、認識、説明責任の文化を推進していきます。



基本的なガイドラインの一部を以下に示します。

- 作業現場では環境、健康、および安全マネジメントシステムの要件を常に遵守し、危険な状況に陥った場合は作業を中止する。
- 業務を実行するための訓練を受けており、能力を有し、医学的に心身良好な状態で十分に休養を取り、かつ注意力がある状態の場合のみ、業務を行う。
- 自分の職場で緊急事態が発生した場合に何をしなければならないかを確認する。
- 自分と一緒に働いている人（社員、受託業者、その他の第三者など）がパーカーの安全性の約束を守って常に行動するように確認する。
- 事故、怪我、病気、危険または不健康な状態、インシデント、環境への物質の流出や放出が生じた場合には、現地のパーカー経営陣に速やかに報告し、そのような状況を直ちに是正、防止、管理する措置を取ることができるようにする。
- 安全上の責任についてまだ不明な場合や、法律やパーカーの要件の潜在的または実際の違反について懸念がある場合は、助言や援助を求める。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
➤ **パーカーに対する責任**
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー

第三者との 関わり方

私たちはお客様のために存在しており、私たちが常にお客様の価値観を認識していることを実感させなければなりません。私たちは、お客様に対して製品とサービスを公平に説明します。私たちはお客様のニーズに耳を傾け、プロフェッショナルな立場から、誠実丁寧なやり方で、できる限りベストなソリューションを提供する新しい方法を見つけようと挑戦しています。私たちは約束を守ります。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任

➤ 第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー



第三者との関わり方

贈収賄と汚職

パーカーが仕事を獲得できるのは、あくまでも私たちの製品、サービス、社員の功績と誠実さによるものです。私たちは、いかなる管轄区域においても、贈収賄、リベート、不適切な報酬、またはその他の不法あるいは悪質な商法を容認しません。

さらに、ビジネスを獲得、維持または誘導するための支払い、あるいはビジネスお客様または公務員（国有または国営企業の従業員を含む）に不適切なビジネス上の利点をもたらすための支払いと受け取られる可能性のある価値のあるものは、たとえ特定の場所や国で商慣行として認められている場合であっても、決して提供、供給または約束してはなりません。

パーカーの社員、役員、取締役、コンサルタント、請負人、サプライヤ、代理人、販売者、またはパーカーの代理を努めるその他の人物は、米国の海外汚職行為防止法および英国の賄賂防止法など、パーカーが事業を展開するすべての国の贈収賄防止法および腐敗防止法を完全に遵守しなければなりません。いかなる理由であっても、公務員に対する利益供与金（ビザの処理や税関を通じた積み荷の受け取りなど、慣例となっている行政上の措置を迅速化するための支払い）は、それが少額であったとしても、固く禁じられています。ある支出が賄賂や利益供与に当たる疑いがある、そのような支出を求められた、あるいはそのような支出が実際にあったという疑いがある場合には、直ちに米国本社の法令遵守室または法務部門に連絡してください。

パーカーは、パーカーポリシー1.31（第三者との取引関係—精査および契約要件）に定められているとおり、契約前と、さらに契約以降は定期的に、リスクベースの精査をすべての第三者

に対して実施します。パーカーの社員は、パーカーの方針1.31A（第三者との取引関係—改善された精査ワークシート）を指針として使用し、パーカーの精査の強化が必要となるタイミングを判断します。精査の強化が必要となる例として、販売の仲介者、政府にコネのある第三者、および他の代理権を持つ第三者が挙げられます。

行動上の誠実さ

Q. 私はサプライチェーンで働いていますが、最近、サプライヤから「お互いによって都合の良い」やり方に関することを言われました。最初は合法的なビジネスであり、新しい製品シリーズでそのサプライヤを使用する意思が私たちにあるかどうかを言っているものだと思っていました。しかし、もっと最近の話し合いの中で、もし私がその会社に行き詰ることを取り仕切れば、サプライヤは私に個人的に報酬を支払うと口にししました。これは誤ったことであると分かっていたので、先方の提案をきっぱりと拒否しましたが、私たちのディビジョンの取引を混乱させずに何をすべきかが分かりません。

A. この状況はマネージャーに報告するか、パーカーのインテグリティラインを通じて報告する必要があります。パーカーは、いかなる類の不正行為も許容しておらず、この状況を必ず解決するように努めますが、パーカーの社員が何かが間違っていると疑った場合、それを率直に話してくれなければ行動できません。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー

▶ 第三者との関わり方



公正な競争

パーカーは、市場において積極的でありながら公正に競争することで成功を収めています。私たちの製品およびサービスは、その独自の真価に基づいています。私たちは、製品およびサービスの特性を不正確に伝えることはありません。また、お客様を欺かず、他のいかなる不公正な取引方法（不公正な比較広告も含む）にも関与しません。私たちは、私たちのマーケティング活動を律する法令を理解し、遵守しており、正確で正直なコミュニケーションを通じて製品のプロモーションと販売を行います。

パーカーは自由でオープンな競争を信条としており、事業を展開するいかなる国においても、独占禁止法および競争法を忠実に守ります。このような法律により、以下を含む特定の反競争的な商慣行が禁止されていることを私たちは理解しています。

- 価格、マーケティング、生産、販売領域、および/またはお客様に関する情報を競合他社と交換すること
- 競合会社との間で、公式または非公式に、次のような契約を提案、または締結すること: 価格の決定、入札の調整、生産の割り当て、市場または販売領域、製品、お客様またはサプライヤ、あるいはその他のあらゆる競争上の重要性の原理を対象とする事項の分割。

なお、私たちの競合他社に関する情報 - 多くの場合競合他社の情報 (Competitive Intelligence) と呼ばれる - の収集は、合法的な商慣行です。これは、パーカーが市場で競争力を保つために役立ちます。

新聞またはインターネットなどの公的情報源から情報を得ることは、適切であり奨励されています。またお客様やサプライヤに対して、競合他社について彼らがパーカーに教えることのできる非機密情報があるかどうか質問することは容認されています。ただし私たちは、お客様またはサプライヤの法律上または契約上の義務に違反する可能性のある情報開示を奨励していません。

コンサルタント、サプライヤおよびその他のパートナーと仕事をする際、私たちは競争力のある情報を合法的かつ適正に収集するというパーカーの期待について、彼らが確実に理解するようにします。

行動上の誠実さ ←

Q. 競合する数社が参加する業界団体の会合に出席しようと思っています。会合の主催者から仮の議題を受け取ったところですが、掲載されているテーマの1つが独占禁止法に抵触しているのではないかと思います。私は何をすべきでしょうか。

A. 特定の議題により懸念が生じているのであれば、会合の前にパーカーの法務部とその議題について検討し、次の段階を決定してください。不適切なテーマが議題に上がっている場合は、その会合には出席しないでください。

第三者との関わり方

贈り物の授受

他者からの贈り物、親切、もてなしに影響を受けたビジネスに関する決断は許されません。贈り物や接待は取引関係を良好にする可能性はありますが、一方で、それらを提供した人に対して客観的になることが難しくなることがあります。サプライヤ、販売会社、およびパートナーの選択は、価格、品質、価値観、サービスや納期遵守などの客観的要素に基づくものでなければなりません。私たちは、この関係を通して受け取った贈り物に基づいて、ビジネスに関する決断を下したように見える状況も避けなければなりません。また私たちは、適用法や適切な倫理的マナーに従う場合を除いて、他者に贈り物や記念品、厚遇を提供しません。

食事、映画のチケット、販促品など額面価格が小さい贈り物は、頻度が低ければ、一般的に受け渡ししても構いません。不定期の接待は、限度を超えず、不正な状況を生み出さない限り、妥当と言えます。

第三者に対する贈り物、旅行、または接待の価額が、推定の報告基準値（米ドル単位の領収書あたり）を超えている場合は、米国本社の法令遵守部の事前の許可が必要です。

贈り物	業務上の接待	出張	財団が関与しない寄付
\$100	\$250	\$1,000	\$1,000

公務員またはその代理人（国有または国営企業を含む）または政府の出資による契約を得るお客様と仕事をする場合、食事や飲み物を購入するなどの単純な申し出も許されないことがあります、法律に違反することもあるので注意してください。

公務員に贈り物やもてなしを提供する前に、法務部門にご連絡ください。

行動上の誠実さ

Q. 職場であるパーカーの工場に出入りしている工具サプライヤが、息子に新しい自転車を買ってくれました。なかなかいい人です。問題ないでしょうか。

A. いいえ。これは、不適切な方法で取引を有利に進めるため、個人的便宜を図ったものと考えられます。自転車を返還し、個人的な贈り物は受け取らないとサプライヤに伝えてください。

Q. 得意先の1つに、感謝をこめて贈り物をしたいと思います。サッカーの入場券が手に入るので、贈れば喜ばれるはずですが、先方の会社の方針に反するので受け取らないかもしれません。本人が気にしないのであれば、贈っても構わないでしょうか。

A. いいえ。先方の会社の方針に反すると分かっているのであれば、贈り物をしてはなりません。パーカーの規範を尊重して欲しいのであれば、こちらも先方の規範を尊重する必要があります。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任

第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー

行動上の誠実さ ←

Q. 取引先の購買部長が、500ドルのギフトカードを提供したら、競争入札の際に有利に取り計らうことをパーカー側の担当者に密かにほめかしています。パーカーはこれに応じるべきでしょうか。

A. いいえ。これは贈賄に当たります。

Q. 市長がパーカーを始めとする地元企業に、毎年恒例の市民イベントで景品を出して欲しいと言っています。パーカーはこれを行ってもよいでしょうか。よい場合は、どのように行えばよいでしょうか。

A. はい。このような恒例行事で（市職員ではなく）市民向けに景品を出すことは問題ありません。ただし、1) 過剰でないこと、2) 現金でないこと、3) 特定の個人に贈るのではないことが条件です。

さらに、パーカーポリシー1.29（贈り物の授受）に定められている基準を超えている場合、その寄付は米国本社 of 法令遵守室の許可が必要です。

私たちに委ねられた情報

お客様、サプライヤ、およびその他の第三者の信頼を維持するには、彼らの情報を適切に使用しなければなりません。私たちは、彼らのプライバシーや機密情報を守ることに取り組んでいます。私たちは、より良い製品とサービスをお届けするため、またお客様の好みを知るためにお客様、サプライヤ、その他の第三者の情報を集めます。機密情報へのアクセスは、業務上または法的な理由でその情報を知る必要があるとして指定されたメンバーに限られ、またすべてのアクセスは、適用されるデータプライバシーの法律およびお客様との契約に準拠しなければなりません。

望ましい行動とは

- お客様、サプライヤ、およびその他の第三者の機密情報の取り扱いに注意する。
- そのような機密データは適切に保護する。
- 機密情報を開示できるのは、適切な権限が与えられた人物であり、業務上その情報を知る必要がある場合に限りです。
- お客様の機密データをパーカーの外部の当事者と共有することはできません。
- 個人データを取り扱う際は、適用されるデータプライバシー法、パーカーのデータプライバシー方針、およびプライバシーの通知を忠実に守る。

個人データの誤った取り扱い、または個人データのセキュリティに関する懸念について気づいた場合、または疑いがある場合は、直ちに米国本社の法令遵守室または法務部にご連絡ください。

私たちの評判や信用を維持するためには、お客様やサプライヤ、その他の第三者のプライベートなデータや機密データに対する安全防護策が不可欠です。

行動上の誠実さ ←

Q. あるエンドカスタマーがパーカーのシステムで問題を抱えています。この問題は、パーカーのサプライヤが提供している部分に関連すると私は考えています。先方は私たちが協力し、問題を解決できるように、サプライヤの設計図で問題の部分を確認して欲しいと言っています。サプライヤの図面をこのお客様にお送りしてもよいでしょうか。

A. いいえ。設計図やその他の機密データなどの第三者の機密情報は、その第三者の書面による明示的な同意なく他者と共有することはできません。

第三者との関わり方

資金洗浄（マネーロンダリング）

資金洗浄は、薬物の不法取引などの犯罪活動によりもたらされる資金を、その犯罪的な起源を隠すために合法的な事業を通じて移行するプロセスです。テロリストへの資金供給は、テロ活動への資金的な支援を意味し、その資金源は合法的または犯罪的である可能性があります。悪質な企業を阻止し、私たちがテロリズムから保護して、私たちが事業を展開する国々における国の安全を保護することを意図したすべての法律を、私たちは遵守します。

パーカーでは、資金洗浄やテロリストへ資金を供給すること、または非合法的な資金流用を促進することはありません。また、パーカーのビジネスリソースを不注意でこのような目的において使用させることのないよう対策を講じる必要があります。私たちは、顧客またはビジネスパートナーに対応する際は、特に、現金または通常と異なる資金源による支払いの試み、該当の取引または顧客に関係のない国々または団体への資金の送金あるいはそれらからの資金の送金を伴う処理、実際のビジネス目的を反映しない異常に複雑な取引、または記録保存あるいは報告要件を回避する試みなど、通常と異なるまたは不審な活動または取引をすべて即座に報告することにより、慎重に適切な判断を下す必要があります。

公務員との実質的な関わり方

世界的な企業であるパーカーの社員は、公務員（国有または国営企業の従業員を含む）と接触する場合があります。いつものように、私たちが提供するあらゆる情報について、パーカーの社員は正直かつ誠実でなければなりません。政

府（資金の拠出元が政府である場合のOEM、元請業者、下請業者、および販売業者を含む）とビジネスを遂行する際は、活動基準が商業ビジネスに対処する際の活動基準と異なる可能性があります。

政府（または政府の資金拠出を受けている商業団体）との取引の実施に関連する法律は、多くの場合複雑であり、違反した場合には不適切な慣行に参加した会社および従業員の両方に重大な民事罰、刑事罰またはその他の罰則が課せられます。政府または規制当局から非慣例的または非標準的な情報の要請を受けた場合は、対応する前に法務部または米国本社法令遵守室まで連絡してください。この規範の40ページにある「贈り物の授受」で述べているとおり、公務員または政府職員への報酬、贈り物、またはその他の便宜は影響を与えるための手段または賄賂と見なされる場合があります、固く禁じられています。

行動上の誠実さ ←

Q. 公務員とは具体的にどの範囲の人のことを指しますか。

A. ここで言う「公務員」とは、政府（政府機関、部署、企業体を含む）の 1) 職員、職員、候補者、代表者、2) 政治団体または公共国際組織、3) 政府が一部または全部を所有し、出資し、影響を及ぼし、管理する企業の従業員を指します。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任

▶ 第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
主要なポリシー

通商法

パーカーは、世界中で売買を行っており、商品、サービス、ソフトウェアおよび技術の輸入、輸出、再輸出に関して、該当する国の法律に準拠します。

パーカーのすべての社員は、製品の輸入、輸出、再輸出に関する、米国およびその他の国の法律を遵守しなければなりません。

- 禁輸処置や経済制裁は、ある国や国民、一部の産業分野だけでなく、特定の団体や個人との経済活動を禁止したり、厳しく制限したりするものである。
- 輸出管理規制は、ある種の物品や技術を外国や最終消費者に引き渡すことについて、制限を課す。
- 反ボイコット法は、米国の企業およびその海外子会社に対して、他の国に対する国際的なボイコット運動に参加することを禁じている。
- 税関規則の遵守には、商品の分類、金銭的評価、原産国、輸入物品の表示に関する複雑な手続きも対象として含まれる。
- 税規制は国際的な取引における販売条件や関係者の責任に影響を及ぼす。
- 国際貨物安全法の要件は、国境を越える航空輸送および海上輸送の物理的安全性を保つ、最低限の安全基準である。

私たちのすべてのサプライヤが、税関やその他の政府機関のものを含め、サプライヤの製品に適用される法律に精通し、理解しているものと考えています。

パーカーの社員、特に私たちの製品の輸出および再輸出に従事する社員も、パーカーポリシー1.24（制約国に対する営業の禁止）とパーカーポリシー6.0（国際輸出の要件）を含め、当該業務に適用されるパーカーの方針を熟知していることを期待されています。

この分野は非常に複雑です。行政庁からの問い合わせに、自分だけの判断で対応しようとししないでください。適用される法令は、国によって異なります。本分野におけるパーカーの法令遵守義務に関する質問は、企業通商法令遵守部または法務部までお問い合わせください。

国際企業であるパーカーは、米国その他の国における輸出入に関する法律を遵守するための手段を定め、法令遵守のための人材を世界中に配置しています。商品、サービス、技術、製品の輸送が対象となります。

パーカーやパーカーの社員が法令に違反したり、遵守しなかった場合は、起訴や収監などの厳しいペナルティを課せられることがあります。

国際取引を行う国の法律を理解し、遵守する責任があります。



コミュニティと 地球環境に対する 責任

パーカーは1世紀以上にわたり、社員の生活を向上させ、環境を保護し、地域のコミュニティを支援することをパーカーの成功の証とし、ポジティブな影響を与えられるようその能力を見直してきました。そうすることで、パーカーの価値観と目的を反映させるだけでなく、パーカーがお客様と株主様の長期にわたる持続可能な成長を促進できるようにしています。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

➤ **コミュニティと
地球環境に対する責任**
主要なポリシー

企業の社会的責任

社会的に責任ある企業市民である私たちは、ビジネスを展開するコミュニティに対して、有意義かつ実践的な貢献をしようと努めています。そこで、「企業の社会的責任」プログラムを作り、慈善事業への寄付、災害救助、コミュニティサービスに注力しています。慈善事業への寄付プログラムは、パーカーの社員による寄付金、企業献金、および Parker-Hannifin 財団による贈与によって実施されています。

Parker-Hannifin 財団は、世界をより良い場所にするというビジョンを共有する、幅広い層の人々や団体を支援しています。この財団は、科学/テクノロジー/エンジニアリングを含めて、数学教育、地域のニーズ、および持続可能性の3つの分野に重きを置いています。多様性（ダイバーシティ）と内包（インクルージョン）は、これら3つの重点分野すべての基本原則であり、私たちが世界中で運営する多くの地域の慈善活動の中心となっています。

プログラムについて重要な点を以下に挙げます。

- パーカー基金から支援を受ける組織は、米国内国歳入庁が示す要件を満たしていること。
- パーカー基金の支援対象である組織から、パーカーやその社員が具体的な便宜を図ってもらうことはできない。
- 宗教団体、政治活動団体、社会/友愛団体は、コミュニティサービスや慈善活動の対象にならない。

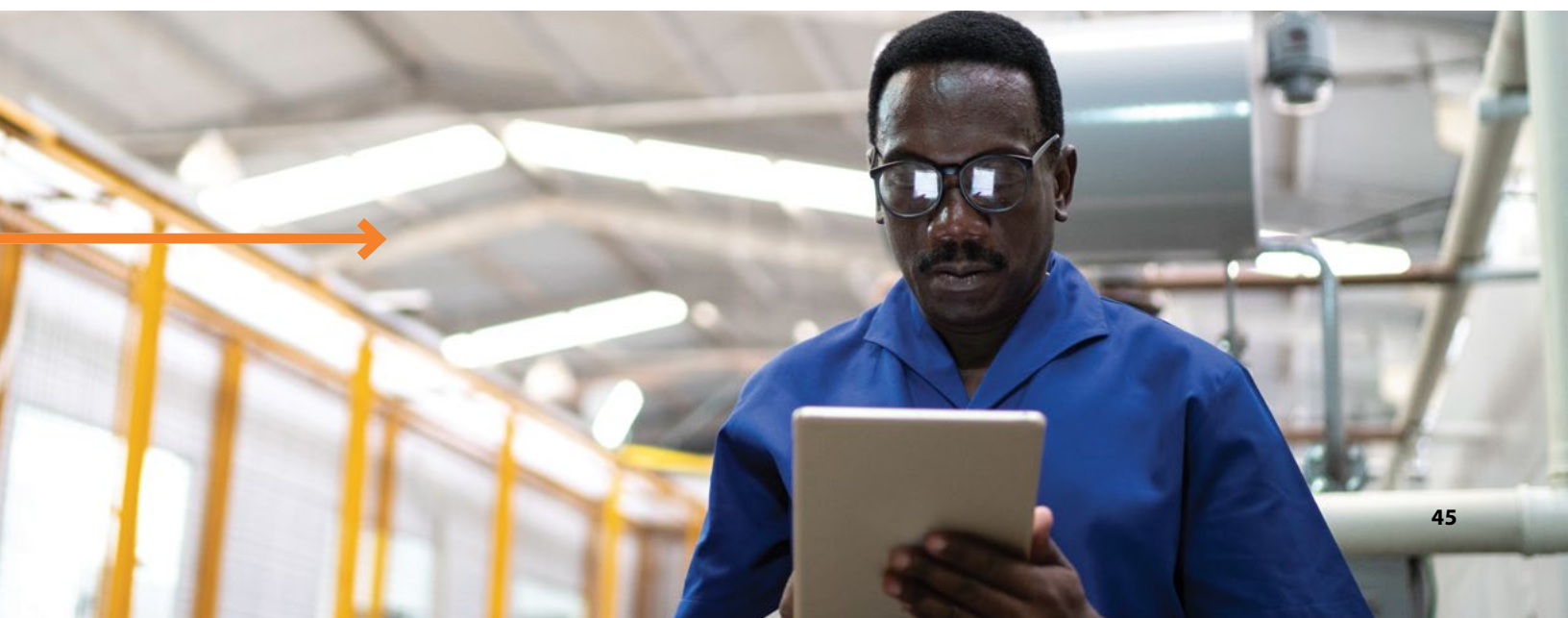
環境管理

パーカーは地球の天然資源に対して責任ある行動を取る重要性を認識しています。そのため、パーカーは産業廃棄物、排出物、およびエネルギー、水、原料などの資源消費の削減を目的とした解決策を探求し、実行し続けます。また、温室ガスの排出削減だけでなく、水不足の地域での水の消費削減に取り組んでいます。

これらのコミットメントを満たすための戦略がグローバルEHS指令の方針に組み込まれています。この方針は、環境、健康、および安全性の基準に関する、経営および運用実績の最低限の期待値を示すものです。

基本的なガイドラインのいくつかを以下に示します。

- 廃棄物はすべて、地域の規則に従って管理すること。施設での廃棄物の廃棄または処分は禁止する。
- 自社水路での化学薬品またはその他の物質の処分は厳しく規制されており、施設の適切な担当者が承認した場合にのみ許可される。
- 危険な化学薬品または物質は、その危険性を理解し適切な防護具がある場合を除いて、取り扱わない。
- 自分の職務および作業活動に関連し、該当する環境要件すべてに精通し、理解していること。





政府に対するロビー活動と政治活動

パーカーは、自社の事業、パーカーの社員、お客様、サプライヤ、株主様、およびその他の繁栄のために重要な事項について、適宜公的な立場を取る場合があります。パーカーがこれらの公的立場

を展開して政治活動に従事するプロセスは、会社全体のニーズを考慮しています。パーカーは、いかなる政治家候補または公務員に対しても、会社の資金または資産を寄付しません。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

➤ **コミュニティと地球環境に対する責任**
主要なポリシー

コミュニティと地球環境に対する責任

ロビー活動の議論および文書は、公的記録の一部となり、会社の事業グループ全体にわたって重大な暗示を与える可能性があります。そのため、パーカーがビジネスを展開するすべての国において、パーカーまたはその事業体を代表して政府の立法行為、規則の制定、規制またはロビイストの関与に影響を与えようとする試みは、最初に国際人事および対外広報担当バイスプレジデントの承認を得る必要があります。

政府との契約

米国政府との事業を進めるには、この規範に示している以外にもさまざまな知識が必要です。そのため、米国政府と事業を進めている、または取引を検討している場合は、パーカーポリシー1.10（米国政府との契約に関する方針）を利用できます。

人権

パーカーは人権を尊重し、国際労働関係プログラムを定めて、国際標準に基づき人権を擁護しています。パーカーポリシー3.33（人権および国際労働基準）は、労働者の人権保護を推進する、世界のさまざまな国際組織が提唱している規範（国連のビジネスと人権に関する指導原則を含む）、および2015年の英国現代奴隷法に沿って考案したものです。

パーカーおよび上記組織によるさまざまな人権原理に基づきパーカーが期待するのは、パーカーのすべての社員が尊敬と品位を持って扱われ、不当な差別や嫌がらせのない環境で働けること、ならびに強制労働、奴隷労働、人身売買、児童労働、就業時間、賃金や給付金、健康および安全、ならびに紛争鉱物に関する、すべての法令や規制を遵守することです。

パーカーは、サプライヤおよび直請け業者がそれぞれの労働者の健康と安全に真剣に取り組む、人権法を遵守して運営していることを期待しています。さらに、サプライヤに対しては、パーカーの「サプライヤ行動規範」に示されている基準に準拠してビジネスを行うよう求め、当該事業体との取引で確実に遵守されるよう適切な手段を講じます。

行動上の誠実さ

- Q.** 雇用上の権利に関するパーカーの規範はすべて、法律によるものですか。
- A.** いいえ。労働法が定めるのは、雇用主が従業員に関して満たさなければならない最低限の基準だけです。しかし企業には、良好な企業市民であるという責任があります。この中には、従業員の権利を保護する雇用法を政府が定めていなくても、特定の権利を保護する、という責任が含まれます。



主要なポリシー

ポリシー名	ポリシー番号	ポリシー管理者
贈収賄の禁止	1.25	法務
嫌がらせや差別の禁止	3.21	人事、法務
報復禁止	3.32	法務
独占禁止	1.23	法務
利害の対立	1.32	企業法令遵守
データプライバシーに関するインシデントの報告と対応	1.35	情報テクノロジー
外部者に提供される文書および情報	1.02	法務
環境、衛生、安全の管理	4.12	EHS
贈り物の授受	1.29	法務
人権	3.33	人事
インサイダー取引	1.18	法務
国際的なボイコット	1.12	法務
投資家、メディアおよび政府とのコミュニケーション	1.21	広報
制約国に対する営業の禁止	1.24	法務
オンラインソーシャルネットワークキング	1.27	人事
米国政府との契約に関する方針	1.10	企業法令遵守
記録の保存および保護	1.04	法務
安全に関する責任	4.13	EHS
社会的責任	1.07	EHS
薬物乱用	3.16	人事
第三者との取引に関する精査および契約の要件	1.31	法務
第三者のデータの保護	1.34	人事
職場における暴力	3.22	人事

終わりに

パーカーのグローバル業務行動規範は、Win Strategy™を活用して、エンジニアリングの飛躍的進歩の実現がもたらすより良い明日を実現する中で、パーカーの社員の行動を導くためのものです。この規範は、常に誠実かつ正直に行動するというパーカーの取り組みの好例となっています。

パーカーを保護し、信頼できる事業パートナーとしての評判を維持し、さらに高めていけるか否かは、私たち全員の肩にかかっていることを覚えておいてください。正しい行動について疑問を抱くような状況に遭遇した場合は、この規範の17ページの「リソース」の項に示されているチャンネルのいずれかを通じて、自分の懸念について質問し、上申するようにしてください。

目次
経営層からのメッセージ
パーカーの価値観
行動規範

パーカーの社員一人ひとりに求められていること
スマートな意思決定
声を上げる

職場における配慮
パーカーに対する責任
第三者との関わり方

コミュニティと地球環境に対する責任
➤ 主要なポリシー

